

第103回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成26年7～9月期実績・平成26年10～12月期見通し)

1. 調査時点 平成26年9月1日～9月5日
2. 調査対象企業数 173社中回答173社 回答率100.0%

区分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	従業員300人以下	39	39	100.0
建設業	〃	42	42	100.0
卸売業	従業員100人以下	7	7	100.0
小売業	従業員50人以下	54	54	100.0
サービス業	〃	31	31	100.0
合計		173	173	100.0

3. 調査方法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域(新冠町～広尾町)内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分析方法

各質問項目で「増加(上昇)」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少(下降)」したと回答した企業の全体に占める構成比との差(判断指数・DI値)を中心に分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課 (TEL. 0146-22-4100、内線621)
〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31番地2

全業種総合 173 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 概 況

今期（平成 26 年 7～ 9 月期）の業況判断D Iは△33.5 と、前期（平成 26 年 4～6 月期）比 1.8 ポイント上昇、前年（△28.2）比では 5.3 ポイント下回っている。業種別には、製造△25.6（同△33.3）、建設△0.0（前期△19.0）、卸売△57.2（同△85.7）、小売△49.9（同△37.0）、サービス業△54.8（同△45.1）となった。前期（平成 26 年 4～6 月期）調査時点での今期（7～9 月期）見通し（△27.2）を下回る水準となった。

売上額判断D I△10.9 は、前期比 11.6 ポイント、収益判断D I△15.6 は、同比 12.1 ポイントそれぞれ上昇した。

来期（平成 26 年 10～ 12 月期）の予想業況判断D Iは△15.0 と、今期実績比 18.5 ポイントの改善見通しとなった。業種別にみると、製造 10.3、建設 9.6、卸売△42.9、小売△35.1、サービス△38.7 と来期を見通している。

【業種別天気図】

業種	時期	地 区 内				北 海 道	全 国
		26 年 1～ 3 月	26 年 4 月～6 月	26 年 7 月～9 月	26 年 10 月～12 月見通し	当 期	当 期
総 合							
製 造 業							
建 設 業							
卸 売 業							
小 売 業							
サ ー ビ ス 業							

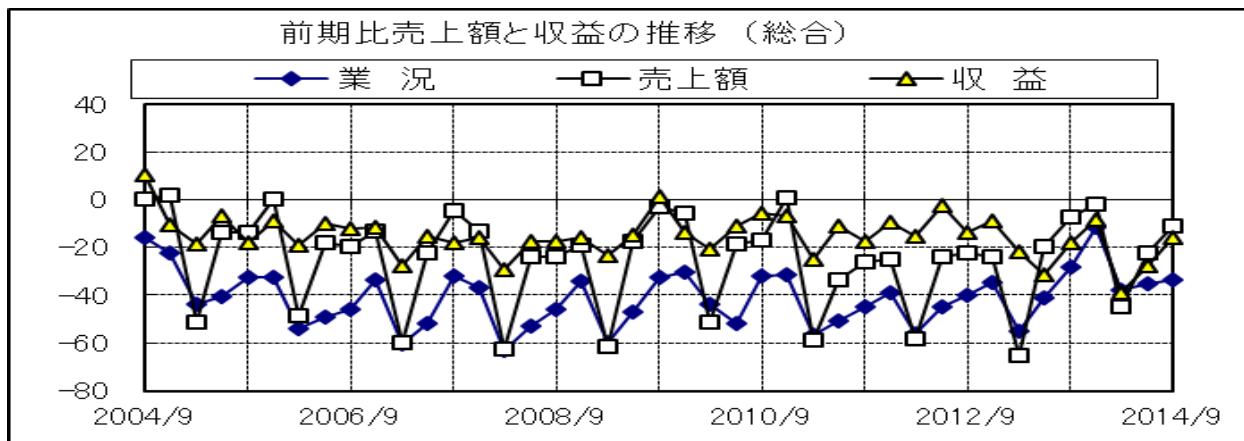
好調 ← → 低調

この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

□ 景 況

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
業 況	-37.7	-35.3	-33.5	-15.0
売上額	-44.8	-22.5	-10.9	8.0
収 益	-38.9	-27.7	-15.6	-1.2

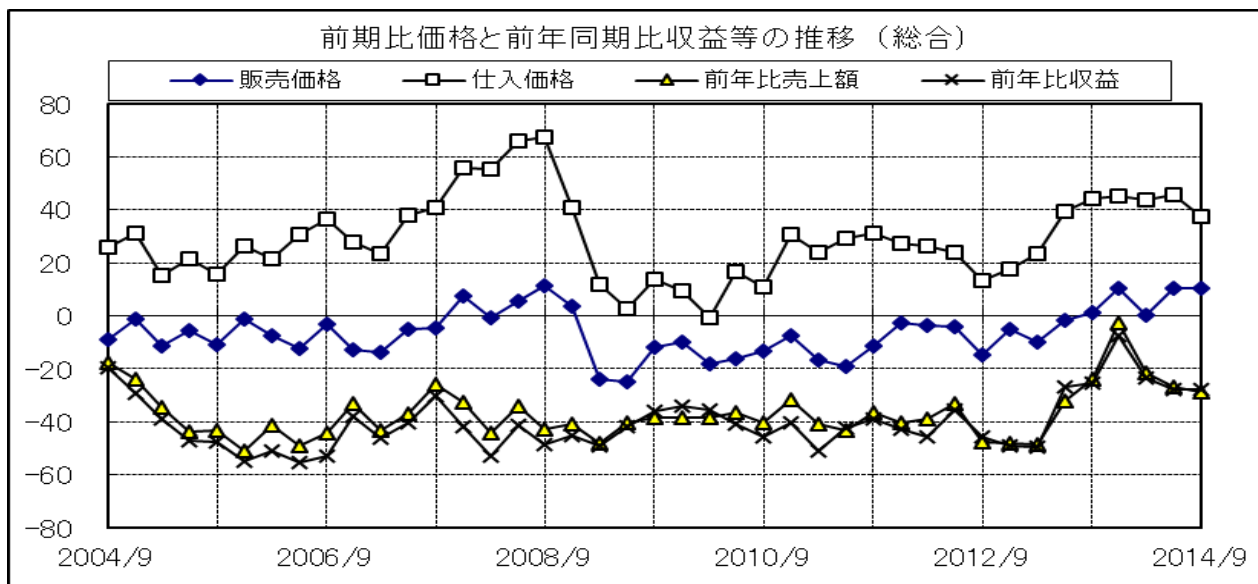
全業種総合の今期の業況判断DIは△33.5と、前期比1.8ポイント上昇した。地区別のDIは、高い順に、えりも、様似、広尾、静内、三石、浦河となった。業況判断DIは前年(△28.2)比では5.3ポイント下回った。売上額判断DI△10.9は前期比11.6ポイント、収益判断DI△15.6は同比12.1ポイントそれぞれ上昇した。



□ 価格面、前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
販売価格	0.5	10.3	10.4	13.3
仕入価格	43.6	45.7	37.6	33.4

販売価格判断DIは10.4と、前期比0.1ポイントの上昇ではほぼ同水準。仕入価格判断DIは37.6と、前期比8.1ポイント下降した。販売価格は前年(1.1)比で9.3ポイント上昇したが、仕入価格は前年(44.3)比で6.7ポイント下降した。業種別にみると、販売価格は建設業が上昇、他の業種では下降となった。一方、仕入価格は全ての業種で下降となり、上昇基調が弱まった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
残業時間	-16.2	-19.7	-6.4	3.5
人手状況	-9.2	-5.2	-13.3	-16.8

残業時間判断DIは△6.4と、前期比13.3ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。人手過不足判断DIは△13.3と、前期比8.1ポイント下降し、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

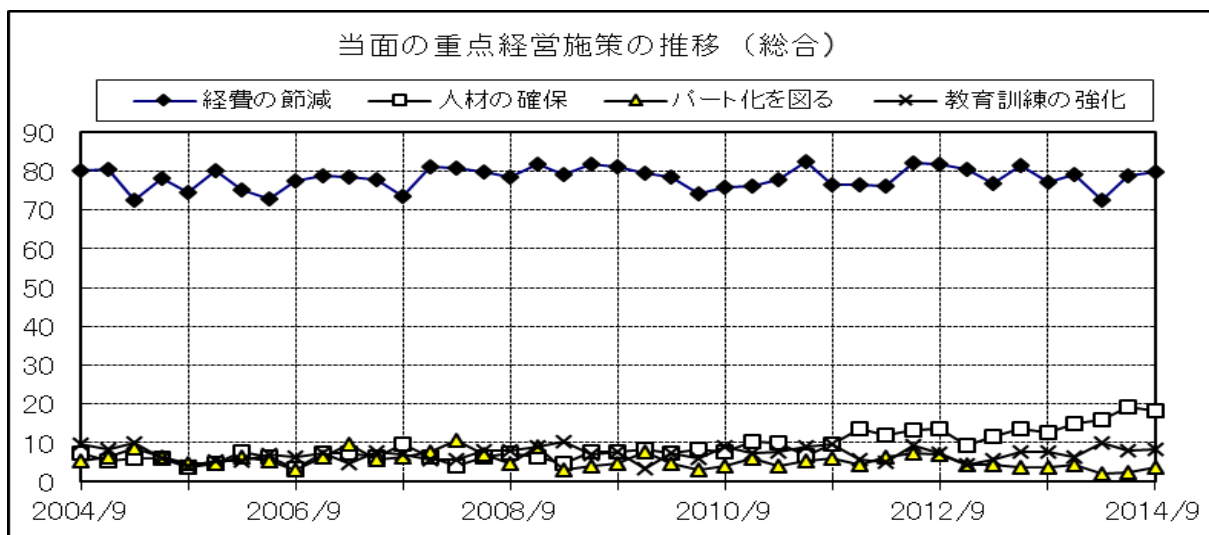
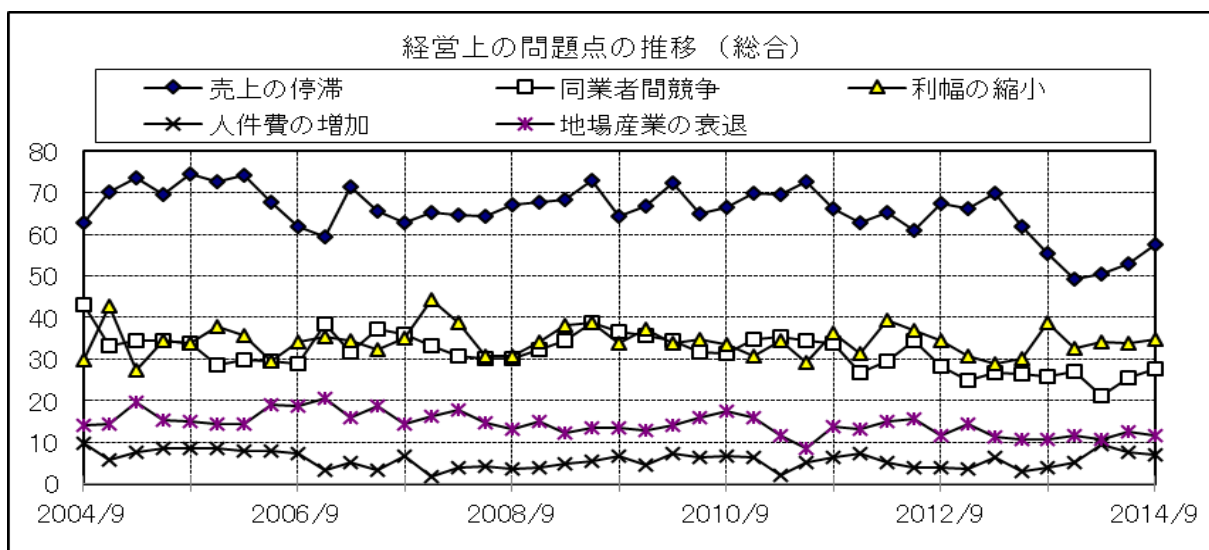
設備投資の充足感を示すD Iは△11.6と、前期比4.7ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は15.6%と、前期比3.5ポイント下降、27社の実施となった。来期の設備投資は、20社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が57.6%で最も多く、「利幅の縮小」34.7%、「同業者との競争」27.6%、「地場産業の衰退」11.8%、人手不足が同率の11.8%で続いている。天候の不順も10.0%を占めた。

重点経営施策では、「経費の節減」が79.9%で突出している。次に「人材の確保」18.3%、「教育訓練強化」8.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△15.0と、今期比18.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは8.0とプラス値になり、今期比18.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D Iは△1.2と、今期比14.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは13.3と、今期比2.9ポイントの上昇を見通している。

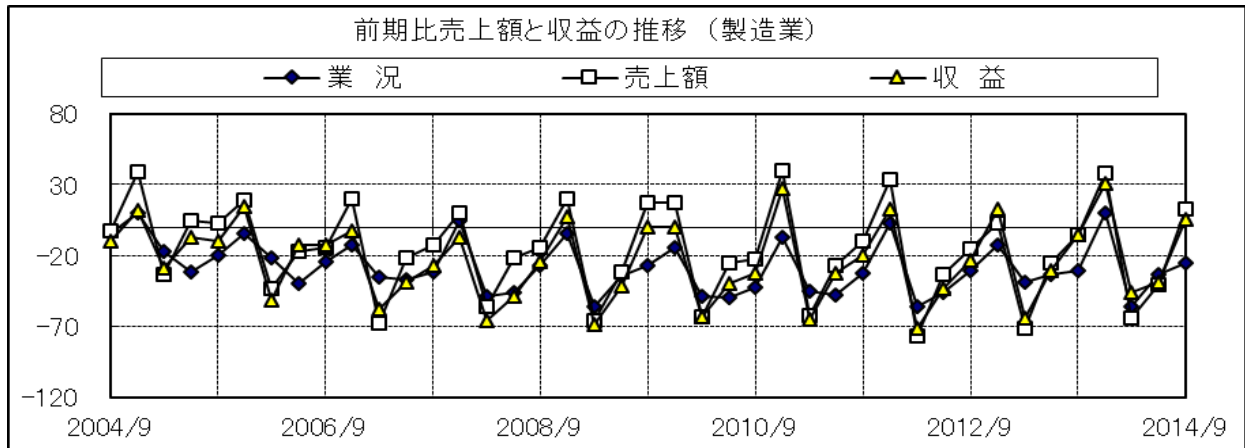
予想仕入価格判断D Iは33.4と、今期比4.2ポイントの下降を見通している。

製造業 39 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
業 況	-56.4	-33.3	-25.6	10.3
売上額	-64.1	-41.0	12.8	35.9
収 益	-46.1	-38.5	5.1	15.5

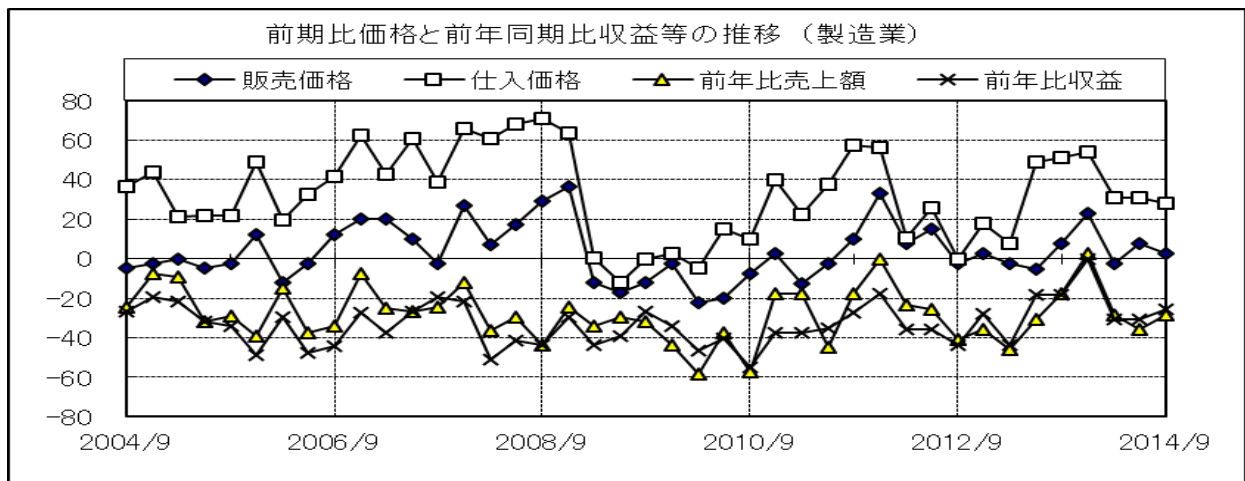
今期の業況判断DIは△25.6と、前期比7.7ポイント上昇した。地区別のDIは、高い順に、様似、えりも、浦河、広尾、静内、三石となっている。前年(△30.8)比では5.2ポイント改善した。売上額判断DIは12.8で前期比53.8ポイント上昇、収益判断DIも5.1と同比43.6ポイント上昇し、ともにプラス値へと改善した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
販売価格	-2.5	7.7	2.6	10.2
仕入価格	30.7	30.7	28.2	38.4

販売価格判断DIは2.6と、前期比5.1ポイント、前年(7.6)比5ポイントの下降となった。仕入価格判断DIは28.2と、前期比2.5ポイント下降、前年(51.2)比23ポイント下降した。業種別にみると、食品は販売価格が下降、木材は上昇した。仕入価格では食品が下降、木材は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
残業時間	-25.6	-20.5	-5.2	15.4
人手状況	7.7	-7.7	-15.4	-20.5

残業時間判断DIは△5.2と、前期比15.3ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。人手過不足判断DIは△15.4と、マイナス幅が拡大し前期比7.7ポイント下降、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

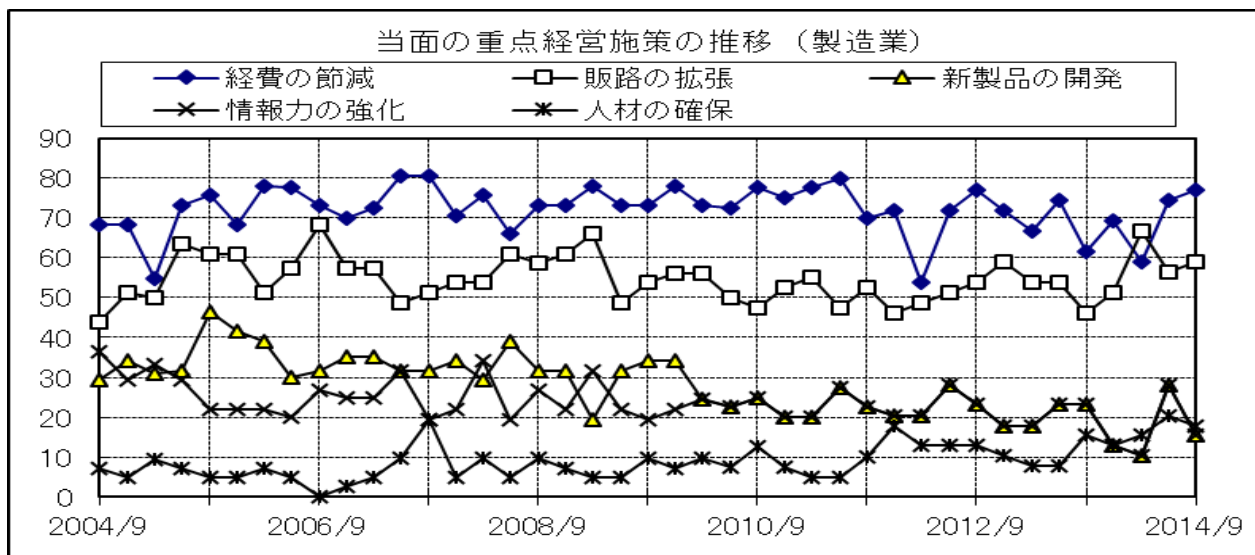
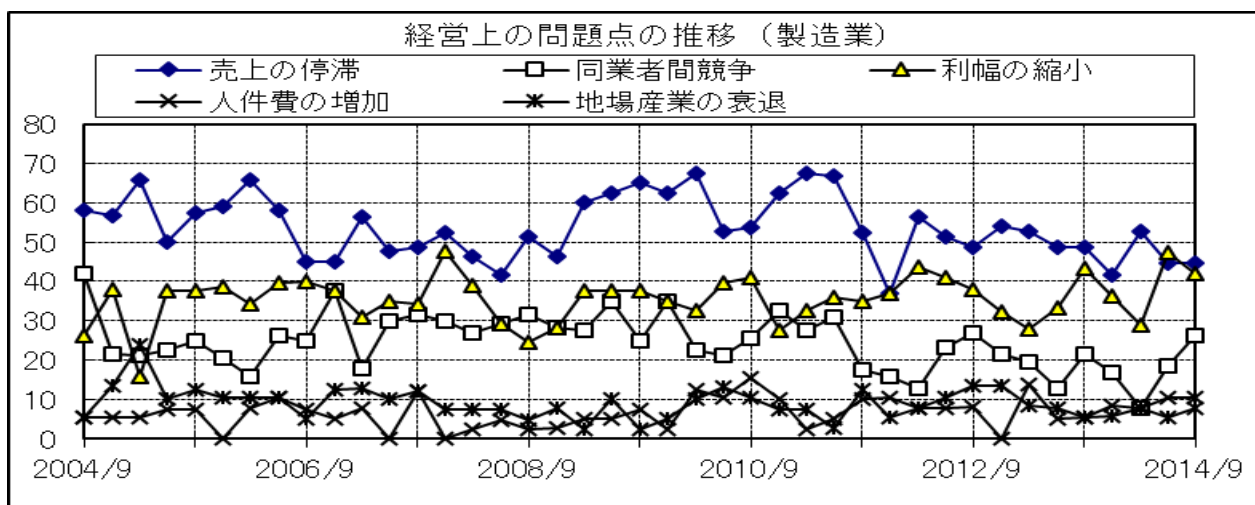
設備投資の充足感を示すDIは△18.0と、前期比10.2ポイント下降した。設備投資実施企業割合は15.4%と、前期比5.1ポイント下降。前期の8社に対し6社の実施となった。

来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「原材料高」47.4%をトップに挙げ、「売上停滞減少」44.7%、「利幅の縮小」42.1%と続き、「同業者との競合」は26.3%、天候の不順は18.4%となった。

重点経営施策では、「経費の節約」をトップに挙げ76.9%、次いで「販路を広げる」59.0%、「新製品を開発する」23.1%、「人材を確保する」が17.9%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断DIは10.3と、今期比35.9ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断DIは35.9は、今期比23.1ポイントの上昇を見通している。

予想収益DIは15.5と、今期比10.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断DIは10.2と、今期比7.6ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断DIは38.4と、今期比10.2ポイントの上昇を見通している。